

◆団体基本情報

No.	9	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人仙台こども財団		
所在地	〒980-0803 仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル4階						
電話番号	022-302-5275		FAX番号	022-302-5276		所管 部局	こども若者局
団体ホームページ	https://sendai-kodomo.jp/					子育て応援都市推進課	
代表者職氏名	理事長 湯浅 誠			設立年月日	令和5年11月20日		
基本財産等	3,000 千円		市の出捐額 (割合)	3,000 千円 (100.0 %)			
設立 目的	こどもの健やかな育ちと子育てを地域社会全体で支える気運を一層高めるとともに、こどもや子育て家庭をめぐる課題や多様化するニーズに的確に対応しながら、こどもを中心とした社会づくりを進め、もって「子育てが楽しいまち・仙台」の実現に寄与することを目的とする。						
事業 概要	こどもを中心とした社会づくりを推進する事業（こどもや子育て家庭からの意見聴取、こども・子育て支援団体等とのネットワーク構築、こども・子育て支援団体や企業等との連携・協働によるこどもや子育て家庭に対する支援及び子育て環境づくり、こども・子育て支援に関する調査・研究、こども・子育て支援団体の育成支援、情報収集・情報発信）						
評価対象決算期	令和6年4月1日～令和7年3月31日						

◆人員等の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①常勤役員数	－ 人	1 人	2 人
うち市派遣	－ 人	1 人	2 人
市退職者	－ 人	0 人	0 人
②常勤役員平均年齢	－ 歳	49.0 歳	55.0 歳
③常勤役員平均年間報酬	－ 千円	－ 千円	－ 千円
④職員数	－ 人	4 人	8 人
うち市派遣	－ 人	4 人	4 人
市退職者	－ 人	0 人	0 人
⑤職員平均年齢	－ 歳	41.0 歳	37.5 歳
⑥職員平均年間給与	－ 千円	－ 千円	5,410 千円

◆主要財務データ

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①当期経常増減額	－ 千円	12,734 千円	△ 335 千円
②当期経常外増減額	－ 千円	0 千円	0 千円
③当期一般正味財産増減額	－ 千円	12,734 千円	△ 335 千円
④一般正味財産期末残高	－ 千円	12,734 千円	12,399 千円
⑤指定正味財産期末残高	－ 千円	3,000 千円	3,000 千円
⑥正味財産期末残高	－ 千円	15,734 千円	15,399 千円
⑦長期借入金残高	－ 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
①市からの補助金	－ 千円	29,199 千円	84,875 千円
②市からの委託料（指定管理料含む）	－ 千円	0 千円	0 千円
③市に対する収入依存度	－ %	100.00 %	99.80 %
④市からの借入金	－ 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	－ 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	－ 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和6年度事業費
こどもを中心とした社会づくりを推進する事業	こども・若者会議，こども・子育てシンポジウム，関係団体とのネットワーク構築，男性育休取得チャレンジ企業創出事業，育児参画セミナー，調査・研究，児童福祉セミナー	65,097 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	当財団は，こどもの健やかな育ちと子育てを地域社会全体で支える気運を一層高めるとともに，こどもや子育て家庭をめぐる課題や多様化するニーズに的確に対応しながら，こどもを中心とした社会づくりを進めるために設立された。 令和6年度は，こどもが参画し，提案の実現に向けて取り組むこども・若者会議や，男性が育児休業を取得しやすい職場環境づくりを後押しするための男性育休取得チャレンジ企業創出事業及び育児参画セミナー，こども・子育て支援団体の実情等を把握し各種施策への反映等を目的とした調査・研究のほか，各団体の交流を促進し，ネットワークを構築するこども・子育てシンポジウム等の取り組みを進めた。	今後とも，設立の趣旨を踏まえながら，「子育てが楽しいまち・仙台」の実現に向けて，地域社会全体で子育てを応援する社会の環境づくりに資する事業を展開していくことを期待したい。
2. 業務・組織管理	組織体制強化のため，企画係を新設したほか，令和7年度に向けてプロパー職員2名の採用を行った。また，公益認定を受けるため，必要な準備を行った。	環境整備のほか，効果的な人材育成を行うなど，組織の活性化に引き続き取り組まれない。
3. 財務状況	仙台市からの補助金等にて運営経費等を賅っている。また，公益認定に向けた準備を進めるとともに，自主事業実施のため，寄附金収入など自主財源の確保に取り組んだ。	引き続き，運営経費の効果的な執行のほか，新たな財源確保の努力も継続していただきたい。
4. 今後の方向性及び課題	財団のビジョンである，まち全体がこども・子育て家庭にあたたかく，すべてのこどもたちが健やかに育つ社会の実現に向けて，こども・子育てに関わるニーズを的確に捉えるとともに，支援団体や企業の皆さまと連携・協働しながら各般の事業に取り組んでいく。	せんだいこども若者プラン2025等に沿った取り組みのほか，より一層市民のニーズに合わせた事業運営について取り組んでいただきたい。